

地域の中で学び育つ三宅っ子

若狭町立三宅小学校

1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	3回
中学校区を単位とした協議会	0回
地域及び家庭への学校公開	11回(のべ) 11日

(2) 地域人材の活用(のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	15人
授業ボランティア(含:低ボラ)	98人
登下校支援ボランティア	1260人
その他(交通安全教室・図書ボランティア等)	128人

(3) 特色ある活動

「学校・家庭・地域が連携した三世代交流会」

本校は、以前から地域や公民館と連携した取り組みを積極的に行っている。地域の方に講師やボランティアとして、読み聞かせや総合的な学習の時間等に入っただけではない。今年度も、クラブ活動には、生花・茶道・将棋・吟舞・篆刻・エコ環境・歴史等、地域の方々に講師として入っただけ、児童が意欲を持って活動に参加できた。

また、今年度は、公民館、老人クラブ、青少年育成会議、子ども会とPTAが連携して、学校公開日に「三世代交流会」を実施した。

1 「三世代交流会」の具体的活動内容・・・11月6日実施

① 授業参観及び祖父母学級

1～3年生は、お年寄りと共に伝承遊びを行い交流した。児童の祖父母には、伝承遊びの先生になってもらい、児童と遊び、上手にできるコツを教してもらった。中には、自作の竹とんぼをたくさん持ってきてくださる方もあった。

② 「ありがとう集会」

地域ボランティアでお世話になっている人を招待し、児童会が中心となって、日々の活動を振り返り、学年に応じた催しで地域の方に感謝の気持ちを表した。

③ 三世代交流もちつき大会

5年生が地域の方と収穫したもち米を使い、杵・臼によるもちつきを実施した。もちつきのための準備から、地域の方にも協力してもらった。もちをついたり丸めたりする中で、児童は地域の人やお年寄りの方と話をし、ふれ合うことができた。



2 成果と課題

・祖父母や保護者、地域の人による授業参観や授業参画を通して、本校の教育を理解してもらうことができた。

・杵と臼を使ってのもちつきにより、伝統文化に触れながら、児童と地域住民の相互の交流を深めることができた。また、児童が日頃お世話になっている地域の方々の紹介を通して、地域に感謝する気持ちが生まれた。

・課題として、3年ぶりの開催で、準備等打合せの時間が少なかった。児童の祖父母にも積極的に多く参加してもらおうよう呼びかけとともに内容も検討する必要がある。